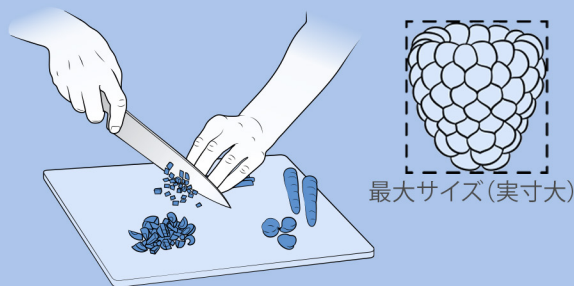
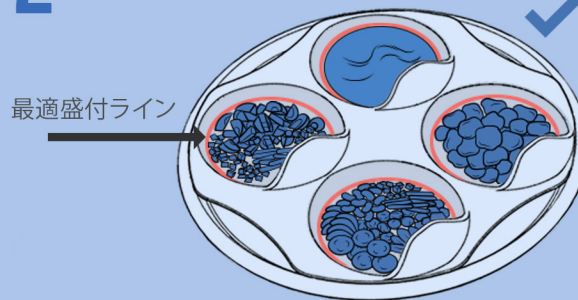


1 食事を準備する



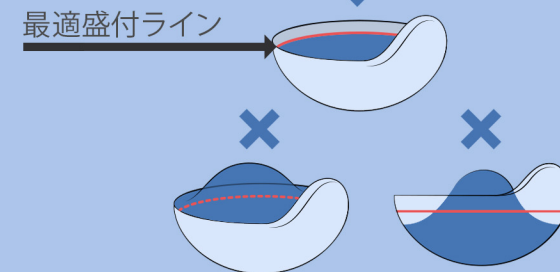
固形物:ラズベリー1個のサイズ以下になるように切り分けてください。
半固形物:オートミール、マッシュポテト、マカロニチーズなど粘り気のある食品には水分を加えてください。

2 ボウルに盛り付ける



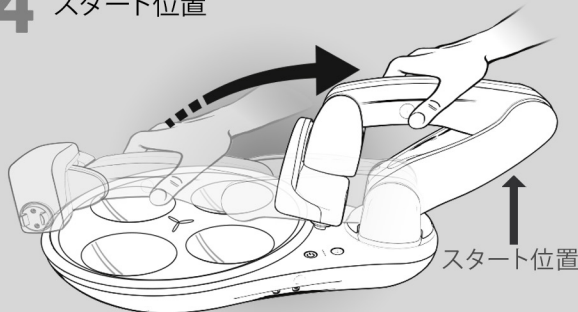
ボウルの最適盛付ラインを超えないように注意しながら食材を盛り付けてください。

3 盛付レベルを確認する



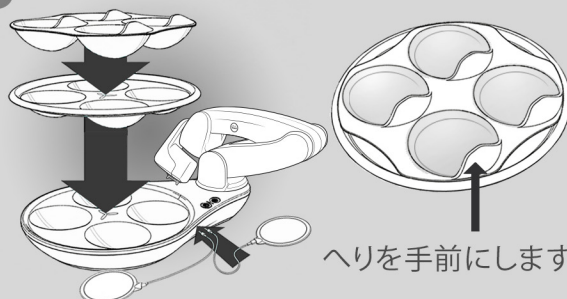
食事が最適盛付ラインを超過または不足のないようにしてください。盛付が少なすぎる状態での使用は推奨されません。

4 スタート位置



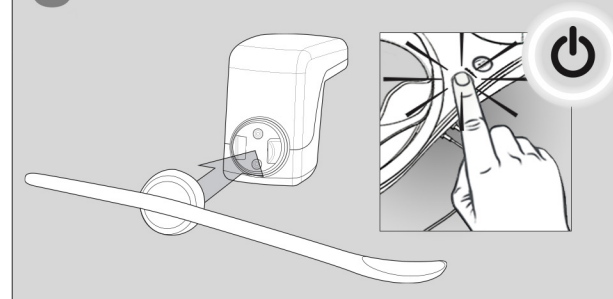
デバイスを平らな面に置いてください。図のようにアームをゆっくりと動かし、曲がった状態のスタート位置にセットします。抵抗を感じても異常ではありません。Obiはスタート位置にないと電源が入らなくなっています。

5 プレート、ランチョンマット、スイッチをセットする



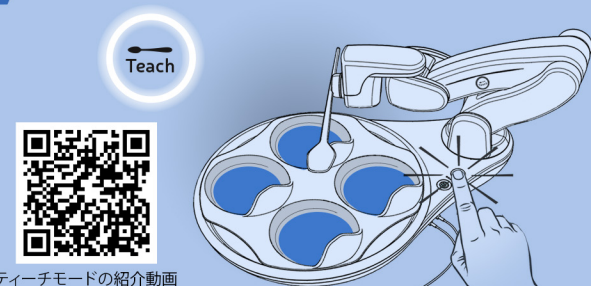
初回使用前にプレートや食器をきれいに洗ってください。黒いランチョンマットを敷き、その上にプレートを置いてからスイッチを差し込んでください。

6 スプーンを取り付ける



お好みのスプーンを取り付け、電源ボタンを押してください。Obiに電源が入り、食事に向かってかがむような姿勢になります。

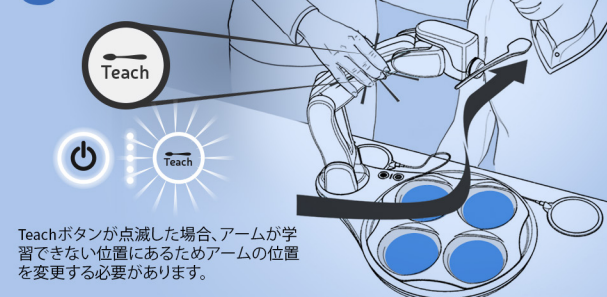
7 ティーチモードに入る



ティーチモードの紹介動画

使用者はまっすぐに座った状態で静止してください。Teachボタンを押します。

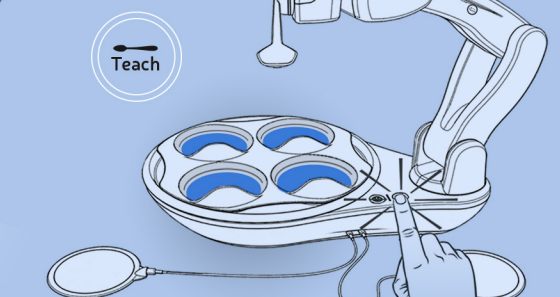
8 場所を決める



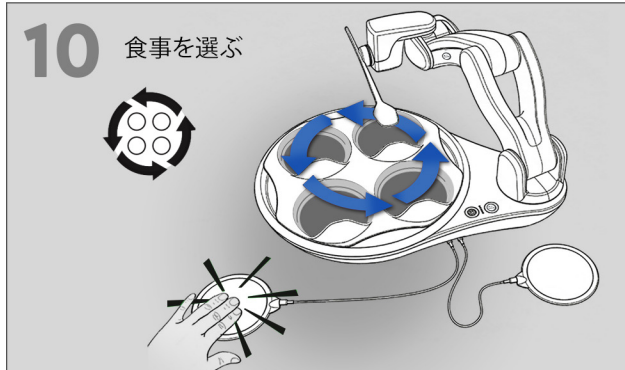
Teachボタンが点滅した場合、アームが学習できない位置にあるためアームの位置を変更する必要があります。

Teachマークを親指で覆うようにアームを握ってください。アームの重さを支えながら持ち上げてください。使用者の口元の希望する提供位置までアームを動かします。アームが希望の位置に到達したらアームを放してください。Obiがその位置を保持します。

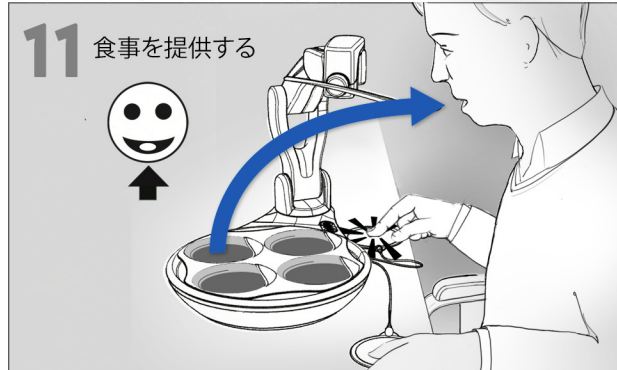
9 ティーチモードを終了する



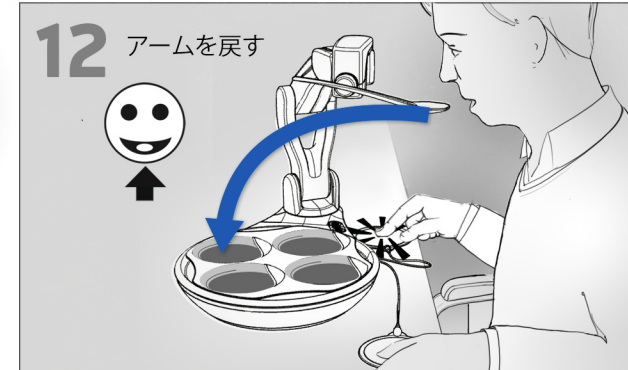
Teachボタンをもう一度押すと現在の位置が保存されます。Obiはティーチモードを終了しボウル上の準備位置に移動します。
⚠ 警告: 窒息の危険があります。口の中を摂取位置として登録しないでください。



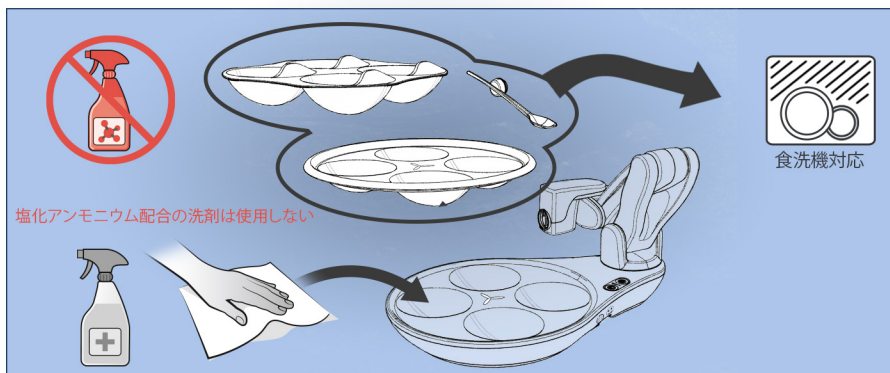
選択スイッチを押すとスプーンが反時計回りに動きます。



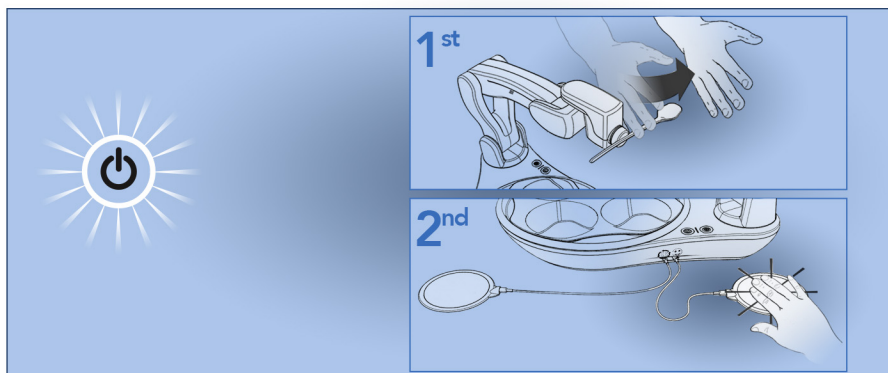
提供スイッチを押すと食事をすくい上げて提供位置まで運びます。



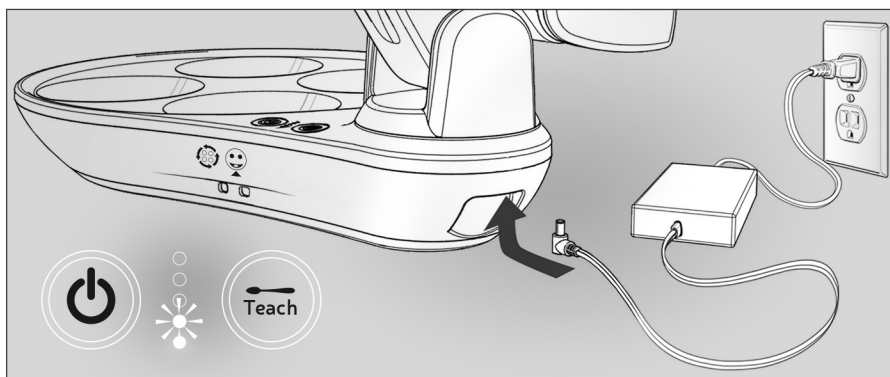
提供スイッチを押すとスプーンがボウルに戻ります。



プレート、ランチョンマット、スプーンはシンクまたは食洗機(上段)で洗浄・消毒してください。Obiの本体とアームは対応の洗浄液で洗浄・消毒してください。詳しくは使用説明書をご覧ください。



電源ボタンが点滅した場合は障害となっている物を取り除いてください。取り除いてからいずれかのスイッチを押すとアームの動きが再開します



充電ケーブルを接続してください。デバイスが満充電になると、すべてのバッテリーインジケータライトが点灯します。Obiを長期間保管する際は、バッテリーの劣化を防ぐために充電残量を40~60%にして保存してください。



Obiに問題が発生した場合は、メール(service@meetObi.com)または電話(+1-844-435-7624)にてご連絡ください。